

■第17回■ 地域の 防火防災功労賞

事例集



令和3年1月

主催 | 東京消防庁
共催 | 公益財団法人 東京防災救急協会
公益財団法人 東京連合防火協会

第17回 地域の防火防災功労賞概要

◆ 概要

「地域の防火防災功労賞制度」は、地震など自然災害による被害の軽減や、火災等の未然防止に関する地域の取組を募集し、効果的な事例について表彰するとともに、優良な取組については他の地域に広めることで、都民の防災行動力の向上、地域連携の強化及び地域に対する効果的な事例の普及、拡大を図ることを目的とする制度として当庁が主催し、消防署を通じて事例の募集を行いました。

本年度は、各消防署を通じて自主防災組織等から88事例の応募があり、応募事例の中から、庁内審査により43の優良事例を選考委員会へ推薦しました。

9月7日（月）に開催された第17回地域の防火防災功労賞選考委員会において43事例を審査した結果、受賞団体17団体が決定されました。

◆ 選考委員会構成

役職	氏名	所属等
委員長	梶 秀樹	筑波大学 名誉教授
委員	関澤 愛	東京理科大学 教授
	池上 三喜子	公益財団法人 市民防災研究所 理事
	伊村 則子	武蔵野大学 教授
	安田 正信	公益財団法人 東京防災救急協会 副理事長
	田中 勝久	公益財団法人 東京連合防火協会 専務理事
	森住 敏光	東京消防庁 防災部長

◆ 募集テーマ（令和2年度）

地震、風水害等の自然災害、住宅防火に関する町会・自治会等の地域主体の取組全般を対象としました。具体的な取組は次のとおりです。

- 1 防災行動力の向上に関する取組
- 2 震災対策に関する取組
- 3 総合防災教育に関する取組
- 4 要配慮者の安全対策に関する取組
- 5 住宅防火対策や放火対策に関する取組
- 6 防災情報の収集・伝達体制の整備に関する取組
- 7 その他の取組

◆ 募集対象

- 1 自主防災組織（町会・自治会等）
- 2 ボランティア団体等（PTA、NPO法人を含む。）
- 3 事業所
- 4 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学等の教育機関
- 5 その他の団体

■ 最優秀賞

- 乾汽船株式会社（プラザタワー勝どき）（中央区）
超高層マンションでの実践的な訓練による防災行動力向上・・・1
- 心のあかりを灯す会（練馬区）
手作りの人形劇で防災教育 食を通じた震災への備え・・・2
- 南砂中央町会（江東区）
地域一体となった共助体制の構築・・・3

■ 優秀賞

- 品川区立品川学園（品川区）
将来の防災リーダーは君たちだ！・・・4
- 北品川一丁目町会（品川区）
新旧住民で旧東海道品川宿を守れ！・・・5
- 東京都立墨田特別支援学校（墨田区）
地域との協力の中で理解度や習熟度を考慮した総合防災教育の推進・・・6
- 栄三丁目自治会（東大和市）
長年の「備え」が功を奏した町会・・・7

■ 優良賞

- 新井宿自治会連合会（大田区）
地域一体。誰もが安心・安全に過ごせる、災害に強いまちづくりへの取組・・・8
- 蒲田三丁目町会（大田区）
スタンドパイプセット設置で高める地域の「絆」・・・9
- 新宿区立四谷第六小学校避難所運営管理協議会（新宿区）
児童・保護者・地域が一体となった避難所運営・防火防災訓練の取組み・・・10
- 児童館ネットワーク事業赤羽西地区（北区）
官と民による地域一体型の新しい防災訓練のかたち・・・11
- グループけやき（板橋区）
公園から繋がる地域の防災対策 ～命を守るリハーサル～・・・12
- 谷中地区まちづくり協議会防災対策部会（谷中地区 16 町会）（台東区）
谷中の防災は、古き良き町を次の世代につなぐための使命・・・13
- 立川・国立防火防災協会防災指導部会（立川市）
2市の枠組みを超えて進める防災 ～立川市・国立市が育んだ防災の半世紀～・・・14
- リムザ自治会（府中市）
マンション防災という考え方・・・15
- 貫井南町東自主防災会（小金井市）
地域全体で取り組む、地域防災力の強化・・・16
- 南田園四地区自主防災組織（福生市）
被害を最小限に抑える南田園の「地区防災」・・・17

長年の「備え」が功を奏した町会

■ 優秀賞 栄三丁目自治会（東大和市）

【経緯】

当自治会は、戦後間もない昭和20年に設立、75年の歴史を誇り、現在は約100世帯が加入している。自助共助が自治会の最重要課題として「災害発生当初は公助を受けることができない。」、よって「自治会のすべての活動を防災訓練の一環とする！」をモットーに、年間を通じて多くの防災事業に取り組んでいる。中でも40年程前から取り組んできた「街頭消火器の自主設置強化」については、令和2年5月に発生した自治会内の住宅火災において、近隣住民が街頭消火器5本により初期消火を実施し、被害を最小限に抑えることができた。

【活動内容】

1 地域防災意識の醸成

会員がお互い顔見知りになり、助け合いの心を持つことが、地域防災の第一歩（共助）と考え、全ての自治会事業に防火防災の要素を取り入れて活動している。

2 防火・防災機器等の充実

① 自治会費により整備した主な防火防災機器

- ・街頭消火器→32本（4軒に1本配置し、点検管理表にて計画的に点検、更新）
- ・住宅用火災警報器→平成20年に自治会で全会員分を一括購入し配布。更に10年経過した今年度に全会員分を再購入更新。（設置率100%を維持）
- ・大型防災倉庫、大型テント、炊出し用品等多数の防災機器を配備している。

② 都（地域の底力発展再生事業）及び市からの

助成事業等による主な防災機器

- ・スタンドパイプ、発電機+投光器、チェーンソー、担架、車いす等の整備。

3 積極的な防火防災訓練と防災機器の取扱い訓練、点検・管理の徹底

① 災害を想定した実践的な訓練を、消防署・消防団員の指導のもと年2回実施しているほか、自治会独自の防災訓練も月1～2回実施している。更に、近隣の学校や病院と合同で行う連携訓練や行政等が主催する大規模な訓練にも積極的に参加し、車いす介添え訓練等様々な訓練を年間計20回以上行っている。

② 男性会員は全ての防災機器の操作に精通できるように取扱訓練に励み、女性会員は有事の際に高齢者の避難誘導をスムーズに行うため、日頃からの声掛け活動を積極的に実施するなど、事前に役割分担がされており、全員が役割に応じた活動ができるよう訓練を重ねている。

③ スタンドパイプ（ホース2本）による消火範囲を住宅地図に色分けし「一目でわかる消火栓と消火器の位置図」を作成配布、会員で情報を共有している。

4 セルフ防火診断と高齢者の見守り

① 消防署の指導・協力により「住宅用火災診断チェック表」を作成し、会員全員が自宅の防火診断を年1回行っている。

② 自治会役員が高齢者宅に個別訪問し防火防災、生活事故に関わる危険要素の指摘と改善方法等を指導している。



車いす介添え訓練



一目でわかる消火栓と消火器の位置図

地震に備えて今すぐできる！ 家具類の転倒・落下・移動防止対策！

近年日本で発生した地震について東京消防庁で調査を実施した結果、負傷者の約3割から5割の方が家具類の転倒・落下・移動によりけがをしていることがわかっています。けが以外にも、家具類が倒れるなどして、「火災」や「避難障害」にもつながることがあります。

おうち時間が増える昨今、室内安全対策として、今すぐできる家具転倒対策を行い、地震に備えましょう。

※「家具転倒対策」とは、家具類の転倒・落下・移動防止対策の略です。



北海道胆振東部地震の室内被害（安平町 震度6強）

【家具類の転倒・落下防止対策の例】

ベルト式
冷蔵庫は壁にベルトで固定する。

つっぱり棒(ポール)
L型金具
壁に強度が足りない場合は、あて板をつけネジが抜けないようにする。

扉開放防止器具

粘着マットやベルトなどで電子レンジを固定するとともに、台も壁に固定する。

連結金具
上下に分かれている家具は連結する。

ガラス飛散防止フィルム

ストッパー式
つっぱり棒を使用するときに併用する。

※家具転倒防止器具は、ホームセンターや量販店などで販売しています。
※壁にキズをつけずに、取り付けられる器具もあります。

対策器具によって効果も違います。
適切な対策をしましょう！

家具の大きさ	小	大
固定方法	<p>ストッパー式</p> <p>ポール式</p> <p>Y字式</p>	<p>L型金具 (3つ穴付)</p> <p>ベルト式</p> <p>フック式</p>
併用方法	<p>ストッパー式 + Y字式</p> <p>ポール式 + Y字式</p>	<p>L型金具 (上向き取付付)</p> <p>L型金具 (下向き取付付)</p> <p>プレート式</p>

家具、壁裏や床裏に十分な強度が必要

家具と天井に十分な強度が必要

対策器具の効果 (東京消防庁調べ)

家具転倒対策の重要性が分かる！！

家具転倒対策啓発動画のご案内

家具転倒対策の重要性はもちろん、自助・共助の重要性が分かる動画を公開しています！
目的に応じた4つの動画（戸建住宅ドラマ編・マンションドラマ編・15秒CM編・取付指導編）を視聴できます。

家具転倒対策啓発プロモーションビデオ

その時家具が凶器になる！
～地震から命を守る家具転倒対策～

対策方法のやり方を学ぶ



共助や応急救護の重要性を学ぶ



火災シーンで出火防止と初期消火の重要性を学ぶ



防災訓練などにも活用できます！

ドラマ編では、家具転倒対策の重要性だけでなく、初期消火や、応急救護、在宅避難などの重要性も訴える構成になっており、防災訓練の目的やモチベーションに繋がるシーンも多くあります。



実際の防災訓練での活用風景

動画は、東京消防庁公式YouTubeチャンネルや東京消防庁ホームページにある家具転倒対策ページでも視聴できます。さらに家具転倒対策をより詳細にまとめた「家具転倒対策ハンドブック」も公開していますので、右のQRコードからは非ホームページにアクセスしてみてください。



鳴りますか？ 住宅用火災警報器 交換目安は10年です！

住宅用火災警報器は古くなると電子部品の劣化や電池切れなどで火災を感知しなくなることがあります。

設置年月を確認し、設置10年を目安に本体の交換を検討しましょう！

check!! 住宅用火災警報器の点検方法

本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検できます。
正常な場合、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。



または



ビー、ビー、火事です！火事です！



連動型の住宅用火災警報器は、設置された全ての部屋で一斉に鳴動するため、火災の早期発見に有効です。



東京消防庁

救命講習のご案内



お申し込みはホームページまたはお電話で

東京防災救急協会

検索

<http://www.tokyo-bousai.or.jp> (午前6時～深夜2時)

受付専用電話 03-5276-0995 (平日午前9時～午後4時)



認定証有効期限を延長します

●救命技能認定証、上級救命技能認定証、応急手当普及員認定証、応急手当指導員認定証、現場派遣員講習修了証をお持ちの方

▶令和2年2月1日から令和3年12月30日の間に有効期限が満了する方の期限を、**一律令和3年12月31日**まで延長します。この間に再講習を受講された後の有効期限は、延長する前の有効期限から3年後となります。

●患者等搬送乗務員適任証をお持ちの方

▶令和2年3月12日から令和3年12月30日までに有効期限が満了する方の期限を、**一律令和3年12月31日**まで延長します。この間に再講習を受講された後の有効期限は、延長する前の有効期限から2年後となります。

密集、密接を防ぐため、定員を減らして実施しています。

ご来場の際は、検温、マスクの着用及び手指の消毒にご協力をお願いします。

当協会の新型コロナウイルス感染防止対策はホームページをご覧ください。



東京民間救急コールセンター

緊急性がない通院や入退院、病院から病院への転院などの際に、電話1本で民間救急事業者またはサポートCab(タクシー)事業者をご案内します。

受付時間
平日9時～17時
(オペレーターによる案内)

民間救急

寝台(ストレッチャー)や車いすのままご利用される場合



サポートCab(タクシー)

ご自分で歩行が可能な場合



サポートCabステッカーが
目印です。
サポートCab



※引越しや空港から病院などへの移動、温泉治療などに出かける際にもご利用いただけます。



民間救急・サポートCabのご案内は！
**東京民間救急
コールセンターへ**

ナビダイヤル 0570-039-099

受付時間 平日9時～17時(オペレーターによる案内)
平日17時以降及び、土、日、祝日は、音声案内

※PC等一部の通信機器からはつながりない場合があります。
そんな時は オーマンキョウ
03-3262-0039
ホームページ: <http://www.tokyo-bousai.or.jp/>

- ご案内する民間救急事業者は、すべて東京消防庁の認定を受けており、乗務員は患者等搬送乗務員講習を修了しています。車両には、「寝台自動車」「寝台・車いす兼用車」と「車いす専用車」があります。ご利用料金は、国土交通省の認可運賃を基準とし、搬送距離と時間によって算定されます。
※別途介護、深夜割増、有料道路料金が加算されます。

- サポートCab(タクシー)の乗務員は救命講習を修了しています。サポートCabは、寝台(ストレッチャー)でのご利用はできませんが、車いすでの乗降ができるタイプがあります。ご利用料金は、ご自宅からタクシーを呼ばれたときと同じ料金です。

詳細は東京防災救急協会ホームページをご覧ください



セーフティ ライフ トウキョウ
「SAFETY LIFE TOKYO」 定期購読募集中!!

**火災予防・防災・応急手当の
 タイムリーな情報が満載!**



火災予防のふくすけ

火災の最新の傾向と対策、
 消防法令等の改正内容がわかる!

災害に備え、企業がやるべき
 防災対策の実例をご紹介します!



防災のサイまる



救急のクワッ

一般市民による救命事例は、
 応急手当を指導する方にもおすすめ!



発行

4・8・10・2月(年4回)

お申込み方法

郵便局に備え付けの振込用紙に下記項目をご記入の上、定期購読料 1,200 円(税・送料込み、4回分)を入金してください。

口座番号	00130-2-554742
加入者名	公益財団法人東京防災救急協会
金額	1,200円(年4回分)
通信欄	SAFETY LIFE TOKYO定期購読
ご依頼人欄	住所(送付先)・お名前・フリガナ・電話番号

※振込手数料はご負担ください。

お問い合わせ 東京防災救急協会 企画課 ☎ 03-3556-3700 ✉ safety@tokyo-bousai.or.jp

ハローキティ × TOKYO FIREFIGHTER



◀ キティパーマグネット 約6×6cm
 400円(税込)



◀ キティミニタオル
 3枚セット
 約16×16cm
 500円(税込)



▲ キティクリアファイル
 (A4) 300円(税込)



▲ キティクリアファイル
 (A5) 200円(税込)

©1976, 2020 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L611553

取り扱い店舗 消防博物館・池袋防災館・立川防災館・本所防災館・消防技術試験講習場の各売店
お問い合わせ 東京防災救急協会 防災事業課 電話：03-3556-3704 FAX：03-3556-3703